

令和 5 年 9 月 1 1 日

洞爺湖町議会令和 5 年 9 月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号	件 名
-----	-----

1	(仮称) あぶた保育所複合化施設について
---	----------------------

2	熱中症対策について
---	-----------

3	各種事務事業の取組状況について
---	-----------------

1 （仮称）あぶた保育所複合化施設について

本年３月以降、町内各所で町民や保護者など地域の方々に対し、（仮称）あぶた保育所の複合化に係る町の素案について説明し、ご意見を伺って参りましたが、この度、町としての一定の方向性を定めましたので、ご報告します。

複合化に伴う基本的な考え方ですが、説明会で頂いたご意見を踏まえ、保育所に複合化する施設に全てを取り入れるのではなく、他の公共施設も活用した面としての複合化を基本に考え、未就学児やその保護者が地域とふれあえる、又は交流できる場の提供を行うことを基本としております。

そうすることで、子育てへの孤立感や負担感が緩和され、子育てしづらい環境が取り除かれ、子育て世代の定住と転出抑制にもつながり、さらには、未就学の子どもたちが生涯にわたり人間形成の極めて重要な時期を、保護者とともに心豊かに過ごすことができるなど、子どもの最善の利益を考慮した複合化としております。

具体的には、保育所機能に加え、就学前の子どもたちと保護者などが自由に集い、気軽に交流ができる場を想定した「子育て支援センター」及び「子育てサロン」などの機能を含めた複合化施設としております。

また、地域交流センターにつきましては老朽化の状況や今後の維持管理経費、双方の建物の配置状況による利用形態などから、このまま維持を継続するのではなく、解体を予定しております。

なお解体に伴い、利用団体につきましては、移転先を含めて現在調整中ではありますが、状況といたしましては、各種団体からは概ね前向きな答えを頂いているところでございます。

今後につきましては、これまでの取組み状況や町の考え方を、町民の方々にお知らせする必要があることから、ホームページと９月広報紙において、周知を図ってまいりますので、議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 熱中症対策について

例年になく気温の高い日が続き、８月２０日頃からは最高気温が３０度を超える日も出て来ており、教育委員会としましては、

この異常な暑さへの対応として幼児、児童生徒が安全に保育や教育活動が行えるよう、通常対策に加え緊急的に熱中症対策を講じたので、ご報告致します。

保育所につきましては、8月23日から5日間、屋外活動は園庭のみとし散歩を中止し、さらに8月25日、26日及び8月31日の3日間については、役場の会議室など公共施設と民間企業にも協力を頂き、クーラーの設置してある部屋で臨時的に保育を行ったところでございます。

小中学校につきましても、8月23日の校長会議において熱中症警戒アラートが発せられている場合は、屋外での教育活動を原則行わないこと、8月23日から5日間は、中学校の部活動を中止とする対策を講じております。

また、8月28日には全ての小中学校の保健室と、クーラーの設置がない保育所と学童保育にスポットクーラーを各1台ずつ1月間レンタルし配置したところでございます。

今後におきましても、保育所及び学校が幼児、児童生徒にとって安心安全な場所となるため、クーラーの設置について前向き検討して参りたいと考えておりますので、議員各位のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

3 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

(1) 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバルの開催について

長引くコロナ禍により集団での活動を控えておりましたが、4年ぶりに洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル実行委員会の主催による事業として、文化庁の事業採択を受け、去る6月21日（水）に虻田小学校を会場に町内すべての小学生を対象とした、オペラ観劇「口はロボットの口」を開催いたしました。

久しぶりの児童が一同に集まってのイベントに子ども達も喜んでおり、オペラ観劇も大変楽しんでおりました。

教育委員会としましても、優れた音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等さまざまな体験を通じて、子ども達の発想力の育成などに取り組んでまいります。

(2) 君の夢応援プロジェクトの成果発表について

去る6月23日（金）に虻田高校への入学支援の一つとして実施している「君の夢応援プロジェクト」の成果発表が、虻田高校の体育館で全生徒を対象に開催されました。

同プロジェクトには、3年生の大西萌映さんが長年の夢であった韓国の語学留学を実施し、ソウルの大学で行われた語学研修や実践研修での体験について、写真を交えて報告されました。

大西さんは「独学で韓国語能力試験に合格するなど、努力を続けた。自分のしたいことを行動に移すことが大事」と生徒に訴えておられました。

教育委員会といたしましても、虻田高校の魅力向上に繋がる成果発表であり、今後も生徒の将来の夢の実現に向け支援してまいりたいと考えております。

(3) 第13回縄文まつりの開催について

史跡入江・高砂貝塚への関心と理解をより一層深めてもらおうと「第13回縄文まつり」を7月16日、17日の2日間にわたって実行委員会と教育委員会の共催により入江・高砂貝塚館、高砂貝塚公園を会場に開催しました。

1日目の縄文講演会では、札幌国際大学縄文世界遺産研究室の越田賢一郎氏による「世界遺産と北の縄文」と題した講演を行い、世界遺産に登録された理由や海とともに生きた縄文人の暮らしをわかりやすく解説しました。

2日目は高砂貝塚公園を会場に、火起こし体験をはじめとした体験コーナー、縄文シャーマンショーや演奏会など趣向をこらした内容となり、来場した方々も楽しみながら遺跡に親しんでいました。

参加者は両日合わせて約350名の方々の来場をいただき、入江・高砂貝塚のPRと共に世界遺産への理解を深め、縄文文化に対する関心を高めていただけた内容となりました。

(4) 教育講演会等の開催について

去る7月18日（火）に洞爺湖町教育研究会の主催による、

児童生徒の学力向上をテーマとした教育講演会「学力向上へ導くもの。授業とは、教師とは。」が、洞爺湖文化センターで開催されました。

講師は大妻女子大学教授の樺山敏郎氏を招き、胆振西部1市3町の教職員と教育関係者、約100名が参加し1つ1つの授業に対する心構えやポイント、学習方法について講話され参加した教職員は真剣な表情で聞いておりました。

また、同日と翌日には町内2つの小学校において実際に授業を視察し、改善ポイントについて助言を頂くことで、教員個々が学力向上に導く本質について、改めて振り返る機会となりました。

教育委員会といたしましても、児童生徒の学力向上に向け学校と連携しながら、今後もさまざまな取り組みを進めて行くこととしております。

(5) 箱根町中学生との相互交流について

姉妹都市箱根町との中学生親善訪問事業が4年ぶりに行われ、7月31日（月）から8月2日（水）まで当町の中学生6名と引率3名が箱根町を訪問し、翌週の8月7日（月）から9日（水）まで、箱根町の訪問団を受入れました。

相互交流では4年ぶりの開催もあり、最初是中々打ち解けられなかったようですが、色々な体験を通じてすぐに解消され、それぞれの町の歴史や文化の違いや、類似点を実際に感じ取ることが出来たようであり、中学生同士の交流を深めてきたと報告を受けております。

(6) ふるさと・ふれあいフレンドリーツアーについて

洞爺湖町と香川県三豊市の友好都市少年交流事業「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」は、三豊市より14名の訪問団（片山団長）が8月25日から28日までの4日間、洞爺湖町を訪れ、4年ぶりに実施しました。

訪問団一行は、初日に表敬訪問で洞爺湖町役場を訪れ、職員の歓迎を受けた後、歓迎式を行いました。翌日、洞爺湖温泉のサミット記念館で対面式を行い、自己紹介の他、洞爺湖町の児

童が手作りで、洞爺湖町の自然や世界遺産あるいは観光名所の説明をふんだんに盛り込んだ「ようこそ 洞爺湖町へ」と題するパンフレットを三豊市の児童に手渡しました。

本年度の交流プログラムとしまして、洞爺郷土資料室で洞爺地区の開拓の歴史を学んだ他、中島散策、火山科学館、入江・高砂貝塚館、洞爺湖芸術館などを見学し、洞爺湖町の雄大な自然環境を学んだり、また、じゃがいも掘りや洞爺湖畔でのカヌーやバナナボートなどのレークスポーツの体験などを通して、三豊市の児童との友情の輪を広め、絆を深めたところであります。

なお、洞爺湖町からは、11月24日から4日間の日程で洞爺湖町の児童6年生9名が三豊市を訪問する予定となっております。

(7) 洞爺湖町立学校運営協議会委員の補充について

洞爺湖町立学校運営協議会委員の異動等に伴う欠員が生じたため、次の方々を任命いたしました。

(虻田中学校 学校運営協議会 R5.6.13 付け) (敬称略)

氏 名	委員の区分
山 本 恵一郎	対象学校の教職員

(とうや小学校 学校運営協議会 R5.6.28 付け) (敬称略)

氏 名	委員の区分
富 田 国 芳	保護者
浅 利 弘 樹	保護者
白 石 圭 吾	保護者
坂 本 瑠 美	地域住民
卷 進	地域住民
横 山 弘 明	地域住民
田 中 研 吾	対象学校の教職員
苫米地 昭 彦	対象学校の教職員
肥 吾 信 吾	その他、教育委員会が適当と認める者
以 西 水 音	その他、教育委員会が適当と認める者

(洞爺中学校 学校運営協議会 R5.6.28 付け) (敬称略)

氏 名	委員の区分
傳 尚 邦	保護者
京 谷 麻衣子	保護者
原 田 翼	保護者
橋 本 勇	地域住民
矢 野 春 美	地域住民
古 沢 真	対象学校の教職員
深 谷 明 弘	対象学校の教職員
以 西 水 音	その他、教育委員会が適当と認める者